【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2005-261207(P2005-261207A)
【公開日】平成17年9月29日(2005.9.29)
【年通号数】公開・登録公報2005-038
【出願番号】特願2004-73957(P2004-73957)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｋ　89/015　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｋ　89/015　　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月9日(2007.2.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
リール本体に片持ちにシャフトを設け、当該シャフトの基端部に回転可能且つ摺動不能に転がり型一方向回転クラッチの内輪を軸支し、当該転がり型一方向回転クラッチの軸方向の向きを反転させて当該転がり型一方向クラッチの外輪の一端側または他端側を選択的に上記リール本体に設けたブレーキ機構と連携するように設け、前記シャフトの先端部に回転可能に軸支するスプールの着脱にて当該スプールが前記転がり型一方向回転クラッチの内輪と一体的に回転可能に係合或いは係合解除しうるように設けたことを特徴とする片軸受リールの左右巻方向切換機構。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明に係る片軸受リールの左右巻方向切換機構は、リール本体に片持ちにシャフトを設け、当該シャフトの基端部に回転可能且つ摺動不能に転がり型一方向回転クラッチの内輪を軸支し、当該転がり型一方向回転クラッチの軸方向の向きを反転させて当該転がり型一方向クラッチの外輪の一端側または他端側を選択的に上記リール本体に設けたブレーキ機構と連携するように設け、前記シャフトの先端部に回転可能に軸支するスプールの着脱にて当該スプールが前記転がり型一方向回転クラッチの内輪と一体的に回転可能に係合或いは係合解除しうるように設けたことを特徴とするものです。